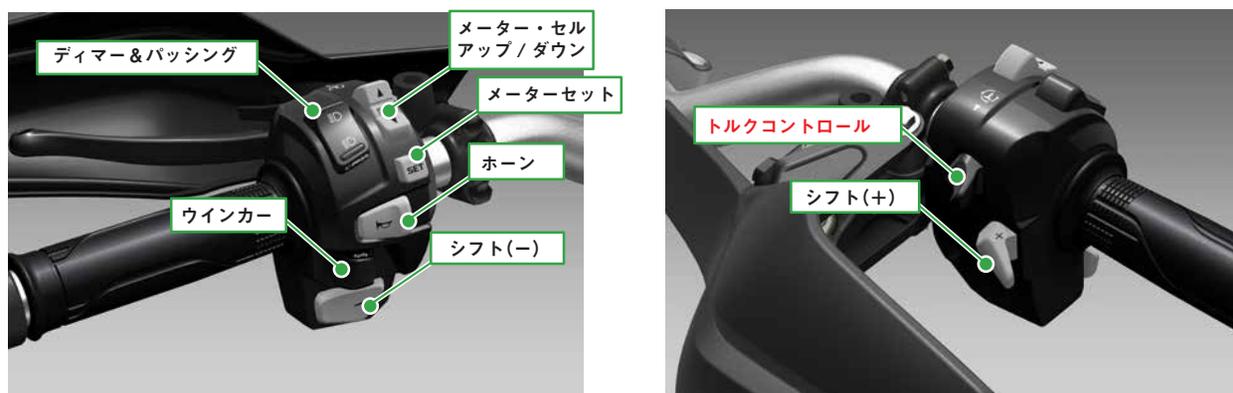


### ●電装系 ハンドルスイッチの配置 DCT仕様

左側ハンドルのスイッチレイアウトは、トルクコントロールスイッチやセレクト・セットスイッチを配置しました。右側には、エンジンストップ統合スイッチ・AT/MT切替スイッチやハザードスイッチを配置しました。スイッチの形や配置角度は、操作性テスト・実走テストなどを繰り返しながら、指の動きやフィット感、クリック感を検討。その結果、DCTシフトモードの切替えがスムーズに行え、快適な操作フィーリングを実現しています。〔特許出願中〕

#### 左側ハンドルスイッチ類の配置

トルクコントロールスイッチは左側ハンドルスイッチの背面に配置し、従来メーター付近に配置されるメーター・セルアップ/ダウン、メーターセットの各スイッチもハンドルスイッチに配置したことで、ハンドルから手を離すことなくスイッチ操作を可能にしました。操作頻度の高いウインカースイッチは、操作性の良さを配慮して、ハンドルパイプより下端側に配置しました。DCT仕様のMTモードのシフトスイッチは、シフトアップスイッチを人差し指で行える背面に、シフトダウンスイッチを親指で行えるように前面に配置しました。



#### 右側ハンドルスイッチ類の配置

右側ハンドルスイッチ類は、右手親指で全てのスイッチが操作できる配置として操作フィーリングに貢献させました。ATとMTのミッションモード切替スイッチを親指に近い位置に配し、ハザードのプッシュロック式スイッチを内側に配置しました。スタータースイッチとエンジンストップスイッチを一体化し、エンジン始動とエンジン停止を一つのスイッチで行えるようにしました。これにより、スイッチ回りのコンパクト化を実現しています。また、信号待ちなどで、一時停止時にユーザーによる手動のアイドリングストップ操作を簡便に実施できるようにしました。

